

KOBE YMCA NEWS



神戸青年

No.637

2015.5・6

May・Jun

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/井上 真二 編集人/田村 光
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479
URL http://www.kobeymca.org 印刷/わかばやし印刷

神戸YMCA
年間聖句

実に、あなたがたこそ、わたしたちの誉れであり、
喜びなのです。
(テサロニケの信徒への手紙 一 2:20)

「神戸学園都市YMCAこども園」開園!!!

2015年4月1日。58名(定員60名)の新入園児を迎え幼保連携型認定こども園「神戸学園都市YMCAこども園」が開園されました。

学園都市にある、YMCA保育園、分園、西神戸YMCA保育園も名称はわかりませんが認定こども園へ移行し、乳幼児すべての子ども達の教育・保育を担う施設として歩み始めます。1999年には、放課後の小学生の子ども達が集う学童保育が地域の有志の方により始められ、同一の建物において、0歳児の乳児から12歳までの小学生が過ごす会館の新たなスタートです。「人はその友によってとがれる」(箴言27)と聖書にありますとおり、子ども達は、子どもとの大いなる交わりを深めてこそ、成長を遂げていきます。大人は大きな愛をもって、子ども達としっかりと関わり、さらなる成長の糧を与えていきます。神様によってこの世に与えられた幼子を、人間として生きていくために、大切な乳幼児期から学童期にかけて、委ねられる責任を認識し、神に祈り、日々新たにされるいのちを未来にむけて、生きる力の礎を育んでいきます。

神戸学園都市YMCAこども園(西区学園東町)の歩みをまたお支えいただけますよう宜しくお願いします。



総主事就任祝福式

水野前総主事より、
井上真二新総主事へバトンタッチ!



4月19日、総主事就任祝福式が約300名のご臨席をいただき、日本基督教団神戸栄光教会にて行われ、井上真二氏が第10代神戸YMCA総主事に就任、13年

間総主事を務めた水野雄二氏は退任と同時に神戸YMCA顧問に就任いたしました。

心配されました天気にも恵まれ、午後3時から教会1階礼拝堂にて野田和人牧師の司式で、山口徹氏(神戸YMCA元総主事)による聖書朗読、水野氏から聖書贈呈、中道基夫氏(神戸YMCA理事長)による新総主事の任職が行われました。

神戸YMCAベルクワイアーによるハンドベル演奏や、ご来賓の井戸敏三氏(兵庫県知事)、玉田敏郎氏(神戸市副市長)よりYMCAの多岐にわたる働きが地域社会に大きな役割を果たしていることへの感謝と期待のご挨拶をいただきました。また、海外からの来賓であるアメリカシアトルYMCA、中国天津YMCA、韓国大田YMCA・水原YMCA、台湾高雄YMCAの紹介と神戸YMCA役員、職員の紹介がありました。

現在、三宮会館を建て替え中ということで神戸栄光教会が就任式の会場となりましたが、たくさんの教会員の皆様からも祝福していただきました。

ご出席、ご協力いただきました皆様へ感謝いたしますとともに、神戸YMCAの新しい歩みの上に、今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

2015年 定期総会

- 日時: 2015年5月29日(金) 18:30~
- 場所: 神戸市教育会館 大ホール 神戸市中央区中山手通4丁目10番5号
「県庁前」駅下車、東1番出口より東へ徒歩5分
- 議事: 1. 2014年度事業報告の件
2. 2015年度方針及び事業計画の件
- 報告・表彰: 1. ボランティア奨励賞
2. ユースボランティア紹介

未来への提言

夢、そして 希望

この4月、神戸YMCAは新しい総主事が与えられ、未来に向かって進みだしました。前総主事の水野雄二さん、13年もの間本当にありがとうございました。新総主事井上真二さん未来に向かってみんなでYMCAを元気にしていきましょう。

さて、私は、今回の総主事のこのタイミングでの退任に、水野さんの「親心」を感じずにはおられません。「新しい革袋には、新しい葡萄酒を」だと思えます。水野さんの13年は、まさに、日本の人口の減少、経済の沈滞等々、混乱の、今までどうりにはいかない苦しい時代だったと思います。その中で、改めて今の神戸YMCAの基盤を作り上げる時代を過ごされたと思っています。そして、最後には、新会館建設の大きな決断をされ、未来への道を示されました。この新会館建設の勇氣は、水野さんのYMCAの若い皆さんへの「エール」であり「プレゼント」だと思えます。先月のこの「未来への提言」のコアナーでは、岡田佑一郎さんが「器は完成します。しかしその中で、YMCAの使命を具現するのはそう簡単ではない。と、書いておられました。まさにそのとおりだと思います。水野さんは、新会館献館を待たずに、若い井上総主事を中心とする若い職員にYMCAの経営を譲られました。期待しておられる処はまさにそこだと思います。新しい発想で、神戸YMCAの130年に近い歴史を「肥し」として、次の時代を是非切り開いていってほしいと思います。あわてず「ユックリ、急いで」コツコツと若人が自分に責任を持って成長する。こんな楽しみは他にはないと思っています。2年先には新会館が献館されます。みんなのベクトルを一つにし、話し合い、行動で示し、井上総主事を支え楽しんでほしいと思います。私も、出来る限りの仕事をするつもりです。

一緒に、患難、忍耐、練達、希望を楽しみましょう。
神戸YMCA理事 進藤啓介

小規模保育事業開始から1年

2014年4月にYMCAちとせ保育ルームが小規模保育事業としてスタートしてから早や1年が経ちました。開設当初は8名だった子どもの数も、毎月のように入園児を迎え、年度末には17名の1・2歳児が元気に保育ルームで過ごしました。「子どもを預けたくても保育園に入れない」「預かってもらえるところがないから仕事に就けない」という保護者が多数おられ待機児が解消されないにもかかわらず、小規模保育事業はまだ認知度が低いようで、「小規模保育事業って一体何ですか?」「安心して預けられるところでしょうか?」と問い合わせをくださる方もいらっしゃいます。

「小規模保育事業YMCAちとせ保育ルーム」は神戸市の認可事業として保育を必要とする1・2歳児をお預かりし、「丁寧で質の高い少人数保育」を心掛けています。また、「幼保連携型認定こども園神戸YMCAちとせ幼稚園」への就園を保障していますので、就学まで安心してお子様を預けていただくことができます。初年度の修了児で神戸YMCAちとせ幼稚園へ通い始めた子どもがいますが、何度か幼稚園と保育ルームの交流保育をしていたことや、先生同士の連携などにより、親子共に安心して幼稚園生活を始めることができているようで大変嬉しく思っています。今年度も同様に幼稚園と保育ルームの交流をもち、異年齢児との関わりや幼稚園行事の体験等、より豊かな触れ合いをもちたいと願っています。写真は、3月に修了した子どもたちと、4月から神戸YMCAちとせ幼稚園に入園ステーションとしてYMCAちとせ保育ルームを利用している修了児がバスで元気に帰ってきて先生に迎えられている姿です。



学童保育



香櫨園育成センター

2015年度の学童保育がいよいよスタートしました。香櫨園育成センターでは新1年生の利用申請者が多かったため、昨年度までの2部屋保育ではなく、新年度からは3部屋での保育となり141名の子どもたちが学童保育を利用します。そんな中、育成センターを利用する新1年生も、4月1日から保育がスタートします。昨日まで保育園に通っていたにもかかわらず、まだ入学もしていない小学校に足を運び、何もわからずドキドキしながら保育初日を迎えました。何もかも初めての生活に新1年生の表情も不安そうでしたが、周りにいる2~3年生のお兄さん、お姉さんがしっかり学童でのお約束や動きを教えてくださいました。本当に感謝しました。



4月2日。香櫨園育成センターではお花見を行いました。運動場にある桜の木が見える場所にシートを広げてみんなでお弁当を食べました。天気も良く、心地の良い開放感を感じながら美味しくお弁当をいただきました。また、その日のおやつもお昼と同様に外でいただきました。この日のおやつはみたらし団子。団子を美味しく食べている姿はまさしく花より団子! しかし、お友だちとのおしゃべりを楽しむ姿を見ていると今年もこの子どもたちと楽しく過ごすことができそうだと感じる1日となりました。今年度もしっかりと子どもたちの育ちを見守っていきたくと思います。

感謝・寄付

阪神地区イースター早天礼拝実行委員会
東日本大震災復興支援のために

★★ 個人消息 ★★

【ご結婚】川田侑衣さん(ちとせ幼稚園) 藤田純一さんと。おめでとうございます。

東日本大震災支援活動 リフレッシュファミリーキャンプ

去る3月21日~22日、六甲山YMCAでリフレッシュファミリーキャンプが行われました。震災から4年が経ち、私たちを取り巻く環境は大きく変わってきました。あの時生まれた子どもは4歳になり、当時中学生だった青年は大学生となり、そして大学生だったリーダーは社会人となり、卒業していきました。



今回は自然の中で遊ぶことに留まらず「これからこのプログラムはどのように進むべきか」を、参加者の皆様とお話しました。六甲のまだまだ冷え込む春夜を、暖炉に火をともし、里見ホールで過ごしました。まず「第1回子ども会議」を行い、「これまで参加して楽しかったこと、良かったことを教えてほしい。そしてこれからどんなことをしたいかを教えてほしい。」と伝えました。すると勢いよく手を上げ「ホテルが楽しかったです! 自然の中が楽しいです!」と元気に答えてくれました。またこれからのについては「もっと長く泊まりたい!」聞いてみると、3泊や4泊のキャンプをしたいと目を輝かせていました。続いて「第1回大人会議」。子どもたちと同じように、保護者の皆様にご意見を伺いました。「罹災証明がなくても、自主避難でもこうして迎えてくれる。本当に大変な時期もあったが、ここに来ると癒された。子どもたち同士が友達になって、このキャンプで再会することがとても嬉しかった。」と今後のプログラムの継続を訴えておられました。多くの若いボランティアリーダーもこのキャンプには参加しており、ある一人のリーダーは「とにかく、このプログラムが好きです。家族が集い、再会を喜ぶ場をこれからも守っていきたく」と宣言していました。



これからもこれまでのように、必要としている人々に寄り添いながら、プログラムが続いていくことを願っています。ご支援とご協力をお願いいたします。

ご寄付・ご支援連絡先 担当: 阪田 ksakata@kobeymca.org

新三宮会館のパートナーは、高齢者住宅を拠点に地域コミュニティづくりをめざす生活科学運営

神戸YMCA新三宮会館は今、9月頃の着工に向けて関係団体とともに準備を進めています。本計画の協働事業者である株式会社生活科学運営は、30年以上にわたり全国で31棟の高齢者住宅を展開している事業者です。企業理念は「地域コミュニティの創造」。「ハウス」とよぶ高齢者住宅を拠点に、子どもから大人までだれもが安心して心豊かに暮らせるまちづくりをめざし、健康づくりや多世代交流の場づくり、就労機会の提供等の取り組みも行っています。

新三宮会館では、4階から11階に、自立高齢者の住まい45室と介護型の住まい32室からなる介護付有料老人ホーム「ライフ&シニアハウス」を開設予定。元気なうちから入居して、もしも介護が必要になったら介護型に住みかえることもできるという安心のしつみを擁した高齢者住宅です。

その他、1階レストランの共同利用や共用部の有効活用等、地域貢献活動も検討中。神戸YMCAの使命「一人ひとりが生き活きと生きる喜びを体験できる場を提供すること」をともに実現していくパートナーとして、2017年春の開設に向けて多方面から大きな期待が寄せられています。



生活科学運営が東京・日暮里で運営するコミュニティ型ハウス

国際協力募金の報告と感謝

2014年度YMCA国際協力募金へのご協力をありがとうございました。

【支出】

| | |
|------------------------------|-----------|
| 日本YMCA同盟拠出金 | 300,000 |
| タイワークキャンプ及びユースボランティア・チェンマイ派遣 | 1,105,580 |
| 定住外国人子ども奨学金 | 180,000 |
| 国際活動リーダーシップ養成 | 340,121 |
| 神戸YMCA国際奨学金 | 240,000 |
| オリーブの木/パレスチナ・ガザ支援 | 53,733 |
| 広島豪雨台風災害支援 | 114,672 |
| CODE・PHD協会支援 | 100,000 |
| 開発・国際理解教育 | 74,907 |
| 事務局経費 | 95,650 |
| 計 | 2,604,663 |

【収入】

| | |
|------|-----------|
| 一般募金 | 1,953,545 |
| 指定募金 | 651,118 |
| 計 | 2,604,663 |

2014年度神戸YMCA東日本大震災復興支援募金へのご協力をありがとうございました。

(2014年度2月末現在、2010年度(震災発生直後)～2013年度分を含みません)

【支出】

| | |
|----------------|------------|
| 日本YMCA同盟拠出金 | 500,000 |
| 被災児童支援制度 | 3,743,632 |
| 福島子ども招待キャンプ | 7,093,948 |
| 被災避難ファミリープログラム | 665,737 |
| 支援活動への派遣 | 313,170 |
| 広報活動費 | 109,546 |
| 事務所経費 | 10,000 |
| 計 | 12,436,033 |

【収入】

| | |
|------|-----------|
| 一般募金 | 1,563,781 |
| 指定募金 | 3,660,363 |
| 計 | 5,224,144 |

灯台 No.1

Light House



総主事 井上真二

「ひかり」

昨年度末、学園都市、西宮YMCAの保育園卒園式に出席をしました。園児達の晴れやかで誇らしい姿に私の心も喜びいっぱいになりました。そして、その式でとても懐かしい讃美歌を歌いました。

「ひかり ひかり わたくしたちは
ひかりのこども ひかりのように
あかるいこども いつもあかるく
うたいましょう (1番)」

神戸YMCAに入職した頃、担当をしていた幼少年活動の開講式と閉講式では、このこどもさんびか「ひかりひかり」を歌いました。キリスト教精神に基づき、ひとり一人の子どものすこやかな成長を支える教育を実践し、YMCAの理念や運動を広め、繋いでいく働きを学んだのはこれが最初でした。時を経て、～すべてのいのちがひかり輝くように～というミッションに代表されるように、私自身ひかりを学び、導かれ、救われてまいりました。

詩編119篇105節に次の言葉があります。

「あなたの御言葉は、わたしの道の光
わたしの歩みを照らす灯」

灯は暗闇の中に希望を与え、迷いや恐れをはねのけて進むべき道を照らしてくれます。これからもイエス・キリストの教え、聖書のことばに従い、その光を得て、皆様とともに祈り歩んでまいります。

新会館建築募金

(前号掲載以降～3/31現在)

尾崎美千代、塩田都造、松本恵子、宗行孝之介、柴田美代子、斎藤章代、斎藤忠、前田邦子、京極美栄子、勝部洋子、社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団、小野勅紘、上杉徹、堀田晋一、尾堂拓哉・千香子、日本キリスト教団西神戸教会、中村雅子、浦野朋子、松田道子・康之 (敬称略 順不同)



シリーズ「くさのまど」40

3月21日から30日までの10日間、タイ・チェンマイYMCAとの協働で、第31回タイワークキャンプを実施しました。昨年度は情勢が悪化したため実施が叶わず、2年ぶりのワークキャンプとなりました。

今回のキャンプは、タイ、ラオス、ミャンマー、日本の4カ国からの参加となりました。期間中は韓国のボランティアグループと交流する機会も与えられ、多様な価値観に触れることができました。日本からは6名の参加でしたが、ひとりひとりが課題を設定してキャンプに臨みました。初めての地、初めて会う仲間にとまどいを覚えながらも、互いに影響を合いながらキャンプを過ごしていました。

チェンマイ市街地から南へ60キロ移動したランブーン県メーサポット村でのワーク内容は、教室のタイル貼り、学習机や学習椅子のペンキ塗り等です。村の子どもたちもできる作業を手伝いながらワークが進行していききました。ワークの間には、事前に各国キャンパーと打ち合わせを重ねたプログラムを村の子どもたちと行いました。私たちが作業を行った教室はこれから子どもたちが学習を行う図書室として使用される予定です。

今回の経験を糧に参加者それぞれが与えられた環境の中で仲間とどのように繋がりを行動していくか。遠く離れた地にも私たちの仲間がいることを支えにして、歩みを進めていきたいと思えます。

キャンプ実施に際し、多くの方々への支えをいただいたこと、貴重な機会をいただいたことを感謝致します。



※このキャンプは、「神戸YMCA国際協力募金」及び「ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部各クラブ」からの支援を受けて実施されています。

タイワークキャンプ引率 本山哲也(神戸YMCA職員)

| | |
|------------------------------|-----------------|
| ファミリーウエルネスセンター | ☎078 (241) 7202 |
| YMCAホームヘルパーの事務所 | ☎078 (241) 7237 |
| ランゲージセンター | ☎078 (241) 7204 |
| 専門学校 | ☎078 (241) 7203 |
| 西宮YMCA | ☎0798 (35) 5987 |
| 三田YMCA | ☎079 (559) 0075 |
| 余島野外活動センター | ☎0879 (62) 2241 |
| デイキャンプ&コミュニティーサービス(兼キャンプ事務局) | ☎078 (241) 7216 |
| 国際・奉仕センター | ☎078 (241) 7204 |
| ウエルネスセンター学園都市 | ☎078 (793) 7401 |



Information

| | |
|----------------|-----------------|
| 西神戸YMCA | ☎078 (793) 7402 |
| 西神南YMCA | ☎078 (993) 1560 |
| 須磨YMCA | ☎078 (734) 0183 |
| YMCA保育園 | ☎078 (794) 3901 |
| 西宮YMCA保育園 | ☎0798 (35) 5992 |
| 西神戸YMCA保育園 | ☎078 (792) 1011 |
| 神戸学園都市YMCAこども園 | ☎078 (791) 2955 |
| YMCAちとせ幼稚園 | ☎078 (732) 3542 |
| ちとせ保育ルーム | ☎078 (732) 3542 |
| 西神戸YMCA幼稚園 | ☎078 (997) 7705 |
| 西宮つとがわYMCA保育園 | ☎0798 (26) 1016 |

夏の余島キャンプ大募集!

余島は今年開設65年目を迎えます! 伝統的な組織キャンプを守り続けてきた余島。今年は何んな冒険が待っているのでしょうか?!

初めてのキャンプは参加する子どもたちも送り出す家族も不安なものです。しかし、キャンプは一人ではありません。応援してくれる仲間、自分を信じてくれるリーダー、雄大な自然。キャンプの中で子どもたちは仲間と笑い笑う。そしてその“喜び”も、家族を想う“さみしさ”も共に感じ、全身で表現します。“自然”と“仲間”と“自分”のどれが一番ではなく、全てが神様に与えられた感謝すべき宝であり、共に歩むべき仲間だと言うことに気付くのもキャンプです。夏休み、皆さんとキャンプでお会いできることを楽しみにしています。



ふっとぷりんと

2014年9月、ファミリーウエルネスセンターのオープンと同時に、会館1階部分に『YMCA デイサービスふっとぷりんと』がスタートしました。

『あしあと (Footprint)』という有名な詩をヒントに『過去』の歩みを大切にしながら、『現在』の中で出来ることにチャレンジし、『未来』を夢みて歩みだす、そんな一歩一歩に寄り添うことを大切にしたいという願いで始まりました。

短時間ですが、ストレッチで身体をほぐしつつ、脳と身体を一緒に刺激するリズム体操(デュアルタスクトレーニング)で笑いが溢れ、マシンや有酸素バイクなどにもチャレンジと盛りだくさんのプログラムです。合間のティータイムでは季節の話題から政治経済、また皆さんの豊富な経験談と話題が広がり、ワイワイと楽しみながら、心と身体のリフレッシュ! まさしくウエルネスライフを形にしたデイサービスです。

お越しになる方々は『女学校にまた通っている気分!』と毎週を楽しみに来られています。三宮のウエルネスで活動されていた方が、フィットネスエリアで活動されている方のご家族の方が、また今回のデイサービスを通して初めてYMCAに出会われた方が、と様々ですが、『ここに来るのが楽しみ!』という声にスタッフも励まされながら、逆に知識やエネルギーをもらいながらの日々です。時には隣室のタンポポくらぶのお友だちが遊びに来たり、ロビーでフィットネスの会員の方とお話が弾んだり、会館内でのウエルネス活動とデイサービスは世代や特徴を超えた相互の交流が日々生まれています。

また、たとえ会館内での活動が難しくなっても、それぞれのご自宅での生活へ寄り添う訪問介護サービスを兼ね備えていること、ケアプランを作成できるスタッフがいることで在宅生活がより豊かなものとなり、『その人がその人らしく生きていく=ウエルネス』が地域に広がっていくことも、ファミリーウエルネスセンターの特徴です。

一人ひとりの喜び(自立支援)が家族の喜びとなり、地域の喜びへつながり、世界の喜びへ広がることをめざし、今日もデイサービスから元気を発信していきます。



イースター

4月5日(日)の早朝、神戸YWCA・YMCA 合同のイースター早天礼拝が行われ約100名が集い、主の復活とともに喜び、祝いました。

日本基督教団神戸聖愛教会の阪口伝道師をお迎えし、復活に際して「どのように」ではなく「なぜ」ということが大切だったのだということをつかち合いました。この2015年も「YMCAとはなにか? YMCAが存在するのはなぜなのか?」を問いながらイエス・キリストの生き方に倣い、歩んでまいります。



※席上献金53,276円は神戸YWCA相互援助募金ならびに神戸YMCA国際協力募金、東日本大震災復興支援募金に捧げさせていただきます。

春の余島キャンプご報告

今年は暖かい春の陽気に包まれたキャンプに個性豊かな仲間たちが集まりました。三つ葉やタケノコ・あさり等の春の味覚を味わったり、半そでになって走り回ったり、カヌーに乗って小豆島へ行ったりと春の余島を心行くまで味わい尽くしました。

皆、また次は夏に会いましょう!



神戸YMCA 高等学院 入学式

4月9日(木)、入学式が行われました。16名の新入生が、それぞれの思いを胸に、新しいスタートを切りました。入学おめでとう!



チャリティー ノルディックウォーキング

3/8(日)にYMCA運動(exercise)からYMCA運動(movement)を起こそう!!をテーマにウエルネスセンター学園都市でチャリティーノルディックウォーキングのイベントをおこないました。道端に咲く菜の花、見事なピンク色の梅の花、春の兆しを感じながら気持ちよく歩くことができました。集めさせていただいた募金はYMCA国際協力募金にあてさせていただきます。ご協力ありがとうございました。



東日本大震災復興支援活動

3月1日(日)13:00~15:00、神戸元町大丸前など5ヶ所に街頭募金活動を行いました。震災から4年が経ちましたが、雨降る中多くの方にご協力いただき、122,343円もの募金が集まりました。心より感謝申し上げます。



パートナーYMCA来神

4月19日(日)総主事就任式に参加のため、パートナーYMCAである、アメリカ・シヤトル、台湾・高雄YMCA、中国・天津、韓国・大田と水原、総勢22名の方々が来神されました。長く親しく続くパートナーYMCAとの絆が強められた機会でした。

